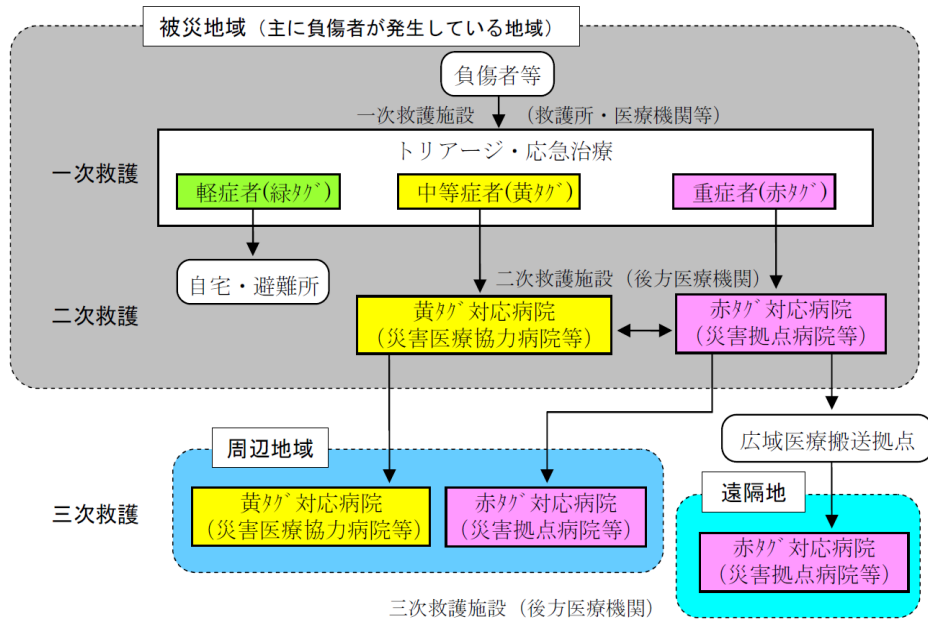


# 1 次救護所の見直しについて

## 1 1次救護所について

### ①内容

災害による負傷者等の傷病程度の判定（トリアージ）と傷病者の応急手当を実施する場所



[千葉県災害医療救護計画より]

### ②開設される条件

震度6弱以上の地震が発生した場合や市災害対策本部長（市長）が必要と認めた時

### ③開設される時期

発災後、救護所の設置可否について、応急医療救護本部（本部長：健康福祉部長）又は災害対策本部（本部長：市長）に報告の上、数時間以内に開設

### ④応急医療救護活動責任者

災害医療地区病院の代表者

## 2 八千代市の1次救護所について

市内各地域に八千代市地域防災計画で指定された7つの病院等により構成

### 3 救護所の設置

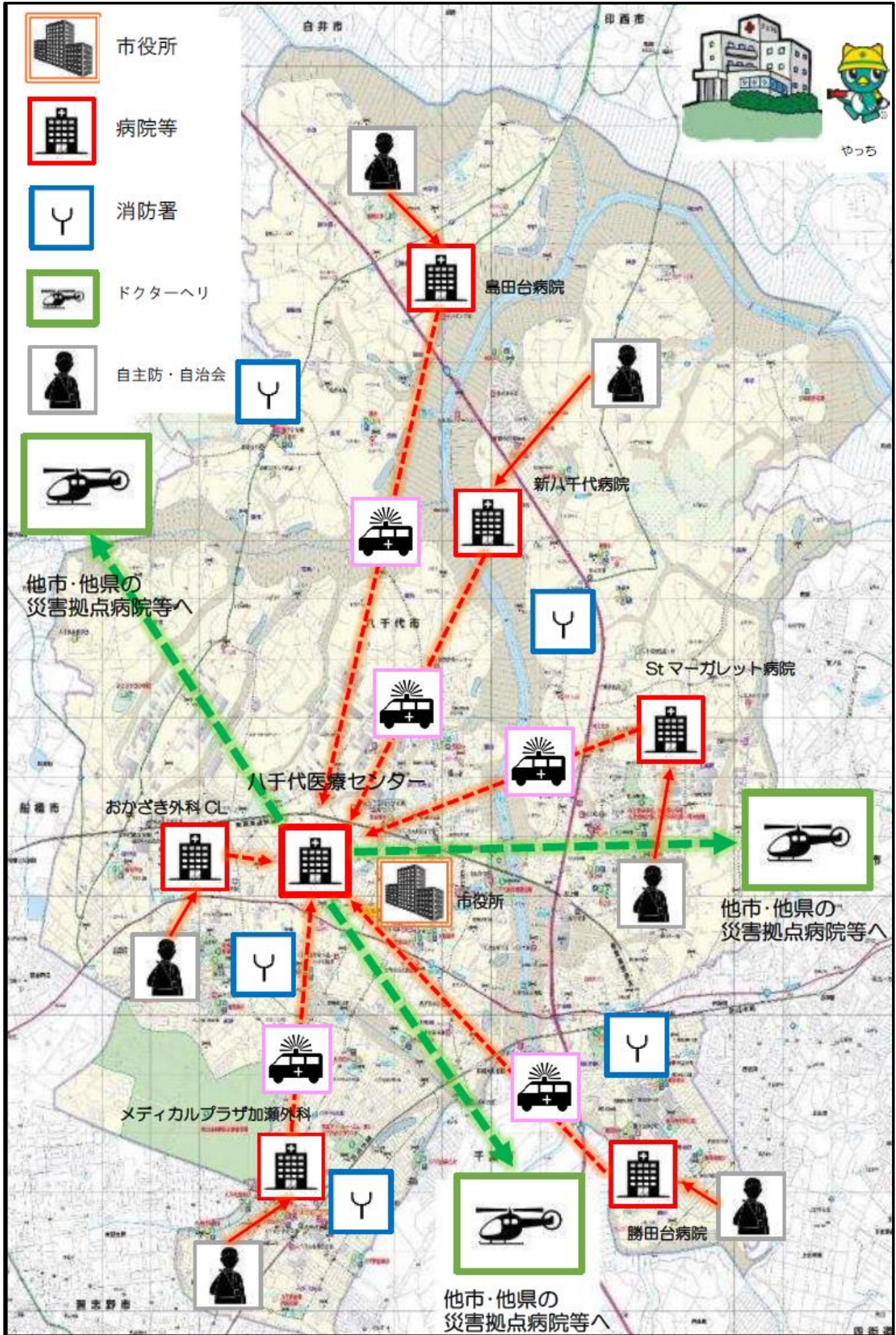
#### (1) 設置場所

本部長は、応急医療救護活動を行うため市医師会及び関係医療機関の協力を得て救護所を設置する。設置場所は、あらかじめ定める1次救護所（災害医療地区病院）及び被害状況等を踏まえて2次救護所から選定する。設置する救護所は次のとおりとする。

なお、市に災害救助法が適用され、県による救護班が派遣された場合は、県（災害医療本部）の指示による。

1次救護所	2次救護所
ア 東京女子医科大学八千代医療センター	ア 保健センター
イ 島田台病院	イ 小学校, 中学校, 義務教育学校 (避難所)
ウ セントマーガレット病院	ウ その他の避難場所
エ 勝田台病院	エ 公民館
オ 新八千代病院	オ 災害現場
カ メディカルプラザ加瀬外科・加瀬眼科	カ その他本部長が必要と認めた場所
キ おかざき外科クリニック	

[八千代市地域防災計画より]





### 3 1次救護所の見直し経緯について

#### 【1】1次救護所に位置づけられている医療機関からの辞退の申し出

No.	地域	1次救護所
1	阿蘇地域	新八千代病院
2	村上地域	セントマーガレット病院
3	陸地域	島田台総合病院
4	大和田地域	八千代医療センター
5	<u>高津・緑が丘地域</u>	<u>おかざき外科クリニック</u>
6	<u>八千代台地域</u>	<u>メディカルプラザ加瀬外科・加瀬眼科</u>
7	勝田台地域	勝田台病院

辞退の申し出

#### 【2】後任の医療機関の検討

後任になっていただけそうな医療機関に打診しにいったものの

- ・ 1次救護所の体制を常時敷くことはできない【人員の問題】
- ・ 停電した際の自家発電機器が備わっていない【設備の問題】

といった課題があり、これら課題が解決しないまま引き受けていただくことは難しい結論となった。

#### 【3】公共施設での検討

2医療機関の代替先として、公共施設に対し1次救護所の機能を持たせる検討を行うこととなり、危機管理課に選定を依頼した。(4頁・5頁を参照)

なお、公共施設での検討にあたっては、発災後数時間以内に避難所開設が想定されていること、また敷地の規模から学校の中から選定を行っている。

○おかざき外科クリニック ➡

(高津地区) 西高津小学校

(緑が丘地区) みどりが丘小学校

○メディカルプラザ加瀬外科・加瀬眼科 ➡

(八千代台地区) 八千代台東小学校

#### 【4】施設管理者・避難所運営委員会へ相談

- ・ 高津地区・八千代台地区 ➡ 内諾をいただく。
- ・ 緑が丘地区 ➡ 議論を継続したい意向(当面は、高津・緑が丘地区で一つの1次救護所の設置を目指すこととした)

#### 【5】八千代市応急医療救護対策会議に諮問

令和5年3月30日に八千代市応急医療救護対策会議にて諮問し、1次救護所の見直しについて出席委員の全員賛成で承認をいただく。

#### 【6】八千代市地域防災計画の修正提案に係る今後のスケジュール(予定)

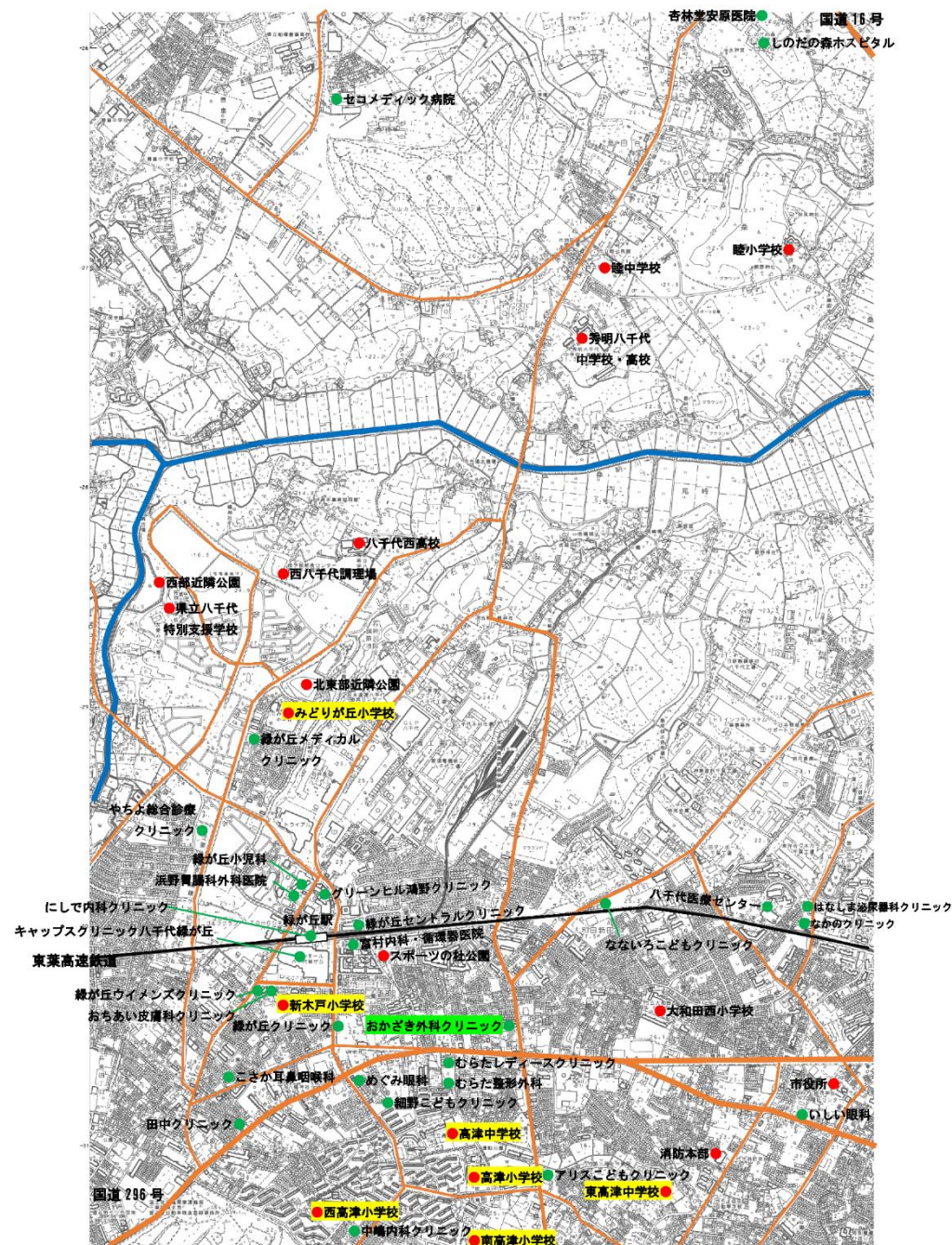
- ① 1次救護所開設マニュアルを作成し、学校・避難所運営委員会と協議(～9月)
- ② 八千代市応急医療救護対策会議への諮問(12月)
- ③ 八千代市防災会議への諮問(2月)

## ○高津・緑が丘地区

現在の八千代市地域防災計画では、高津・緑が丘地区で1次救護所を一つとしているが、緑が丘と高津では、地域特性も大きく異なるため、それぞれの地区で1次救護所を開設できるよう検討を進める。

高津・緑が丘地域に複数の公共施設があるが、以下の理由から、緑が丘地区は「みどりが丘小学校」、高津地区は「西高津小学校」を選定した。

No.	公共施設名称	検討結果	
	所在地		
1	高津小学校	洪水浸水時は避難所として開設しないため、除外とする。	
	高津 7 3 8 番地 6		
2	高津中学校		
	高津 8 8 0 番地 4		
3	南高津小学校		周辺に診療所が少なく、中等症の負傷者の搬送に時間を要するため、除外とする。
	高津 4 2 1 番地 3		
4	東高津中学校		
	高津 1 0 9 2 番地		
5	西高津小学校	周辺に診療所が少ないが、高津地区の中では位置的に良い場所に立地していると考える。	
	高津 8 3 2 番地 3 8		
6	新木戸小学校	駅から一番近い避難所であるため、帰宅困難者を受入れる想定としている。また、地区連絡所も設置することとなっていることから、除外とする。	
	緑が丘 2 丁目 4 番地		
7	みどりが丘小学校	周辺に診療所が複数あるため、比較的短時間で中等症の負傷者の搬送が見込める。	
	緑が丘西 3 丁目 1 4 番地		





## ○八千代台地区

八千代台地域に複数の公共施設があるが、以下の理由から「八千代台東小学校」を選定した。

No.	公共施設名称	検討結果
	所在地	
1	八千代台小学校	駅から一番近い避難所であるため、帰宅困難者を受入れる想定としている。また、地区連絡所も設置することとなっていることから、除外とする。
	八千代台北1 4丁目9番1号	
2	八千代台西小学校	洪水浸水時は避難所として開設しないため、除外とする。
	八千代台西7丁目2 3番1号	
3	八千代台西中学校	洪水浸水時は避難所として開設しないため、除外とする。
	八千代台西7丁目2 3番3号	
4	八千代中学校	周辺に診療所が少なく、中等症の負傷者の搬送に時間を要するため、除外とする。
	八千代台北1 4丁目9番1号	
5	旧八千代台東第二小学校	屋内施設がないため、除外とする。
	八千代台東6丁目2 6番1号	
6	八千代台東小学校	周辺に診療所が複数あるため、比較的短時間で中等症の負傷者の搬送が見込める。
	八千代台東2丁目5番1号	

